

# 2021年3月期 第1四半期決算説明資料

みずほ証券

2020年7月



# 目次

■ 新型コロナウイルス感染拡大を受けた弊社対応	2
■ 四半期決算ハイライト(米国拠点合算ベース)	3
■ 連結決算ハイライト	4
■ 事業部門別概要	5
✓ グローバル投資銀行	6
✓ リテール・事業法人	7
■ 海外拠点別経常利益	9

## 参考資料

■ 連結決算:受入手数料及び販売費・一般管理費の内訳	11
■ バランスシートの状況	12
■ 単体データ	
✓ P/L推移	13
✓ 商品販売、口座数	14
✓ マーケットシェア、預かり資産	15
■ 従業員数、拠点数	16

\* 本資料は、2021年3月期第1四半期の当社の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2020年7月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

# 新型コロナウイルス感染拡大を受けた弊社対応

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、お客さまと社員の安全と健康を第一とした運営を継続
- コロナ禍での社会変貌を受け、これまで世の中の根底にあった構造変化がより鮮明になる中、お客さまの課題解決と価値創造に向け、リモートチャンネルも活用し、コンプライアントな形でお客さまサポートを継続
- 足元、感染が再拡大しており、リモート・在宅を再度強化。また、リモート・デジタルを推進していくうえで改めて認識した障害の除去、および社会・産業構造の変化に対応すべく、一段の構造改革を推進中

## お客さまへの対応

### リテール・事業法人

- 全営業部店での店頭業務の一時休止
- 非対面・電話による対応を基本とし、市場環境、運用資産の状況につき肌理細かくお客さまをフォローするとともに、ニーズにあった運用商品コンサルを継続
- サステナブルな投資機会のご提供：グローバルESG\*ハイクオリティ成長株式ファンドのご案内

### グローバル投資銀行

- ウェブ会議を活用し、コロナショックに直面するお客さまの資本調達ニーズに対応
- またノンコア事業・アセットの売却等の事業ポートフォリオ再構築ニーズ、コア事業の強化に向けた買収ニーズ等へのアドバイザー継続
- 海外においては旺盛な債券発行ニーズに積極的に対応。欧米においてブックランナーとして関与した金額は前年同期比3倍強

### グローバル・マーケット

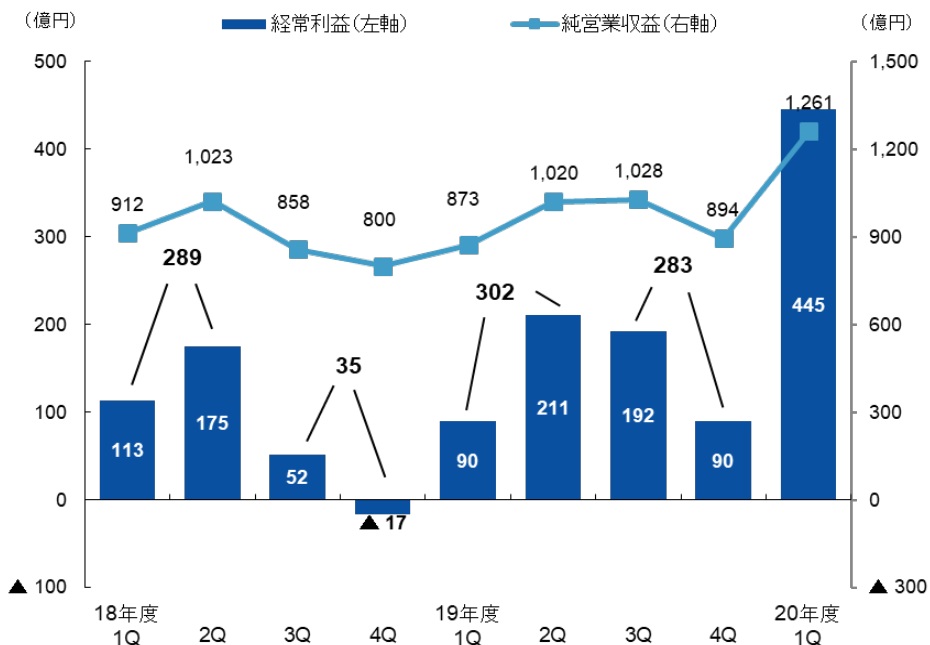
- 難しい市場環境下、市場への流動性供給を継続
- グローバルネットワークをフル活用し、多様な運用機会をご提供

## 社員への対応

- 在宅勤務可能なインフラの整備(ラップトップの配布・リモートアクセスの拡大)
- 在宅でのコミュニケーション活性化・社員同士が繋がるためのインフラ整備(ウェブ会議システム・チャット機能)
- 在宅勤務困難な業務については、交代勤務制・時差出勤・スプリット勤務の活用。三密を避けるためのパーティション設置等オフィス環境整備
- 国内本社在宅勤務比率：ピーク時6-7割在宅勤務  
営業店在宅勤務比率：ピーク時5割程度
- 海外在宅勤務比率：8-9割
- 出社が必要な社員に対する通勤手段・ルートの緩和
- 特別休暇の無制限取得可能に
- 子育て中の社員・妊婦・基礎疾患がある社員への配慮

# 四半期決算ハイライト(米国拠点合算ベース\*)

## 経営成績(合算ベース)



経営成績(単位:億円)

2020年度  
1Q

前四半期比  
増減額 増減率

前年同期比  
増減額 増減率

(合算ベース)

純営業収益

1,261

+366 +41%

+387 +44%

経常利益

445

+355 +393%

+355 +391%

### ■ 第1四半期の外部環境

- 4-5月は新型コロナウイルス感染拡大に伴う非常事態宣言を受け、投資家のアクティビティが低下したが、5月中旬以降は回復社債発行も、6月に入り急増
- 米欧では、期初から社債発行、セカンダリー取引共に活発(米IG債発行規模は前年同期比約3倍と記録的な水準)

### ■ 第1四半期(合算)経常利益は、445億円と過去最高益

ー 内外で構造改革が進展、市場環境が好転する中、フローを捕捉

- 海外は、構造改革進展等を背景に主要3拠点共に過去最高益
  - 米州: 銀証連携によるCIBモデルが進展
  - 欧州: 顧客フローに根差したビジネスモデルへの転換やコスト削減等の進展
- 単体も、2016年度下期以降、経常利益は最も高いレベル
  - コロナ影響拡大の中、リモートチャネルを整備し顧客サポートを継続
  - リテールでは、丁寧にお客さまニーズを把握し、6月はESGを捉えた新ファンドや外株販売が好調
  - プライマリーも、6月以降DCMが活況となる中着実に案件獲得

\* 合算ベースには、連結損益計算書の純営業収益および経常利益に連結対象会社でない米国みずほ証券等の米国拠点の純営業収益および経常利益(社内管理ベース)を単純合算しております。

# 連結決算ハイライト

## <財務会計>

- 前四半期比では、純営業収益は18.8%増の804億円、経常利益は260.0%増の196億円、親会社株主に帰属する純利益は1,111.9%増の144億円
- 前年同期比では、純営業収益は26.9%増、経常利益は843.0%増、親会社株主に帰属する純利益は878.2%増
- 連結経常利益196億円は、2016年度下期以降、最高水準

## <米国拠点合算ベース>

- 米国拠点合算ベースの経常利益合計は、前四半期比393.4%増、前年同期比391.3%増の445億円

経営成績(単位:億円)	2019年度 1Q	2019年度 2Q	2019年度 3Q	2019年度 4Q	2020年度 1Q	前四半期 増減率	前年同期 増減率
営業収益	847	1,056	982	931	947	+1.7%	+11.8%
受入手数料	372	418	411	413	424	+2.7%	+13.9%
トレーディング損益	218	317	302	245	326	+32.9%	+49.2%
営業有価証券等損益	18	13	4	▲ 4	13	—	▲ 27.8%
金融収益	237	306	262	277	183	▲ 33.9%	▲ 22.7%
金融費用	213	306	223	254	142	▲ 43.8%	▲ 32.9%
<b>純営業収益</b>	<b>634</b>	<b>750</b>	<b>759</b>	<b>677</b>	<b>804</b>	<b>+18.8%</b>	<b>+26.9%</b>
販売費・一般管理費	611	637	658	622	612	▲ 1.6%	+0.2%
営業利益	22	113	101	55	192	+248.6%	+742.0%
<b>経常利益(A)</b>	<b>20</b>	<b>120</b>	<b>116</b>	<b>54</b>	<b>196</b>	<b>+260.0%</b>	<b>+843.0%</b>
税金等調整前純利益	22	117	117	34	189	+455.0%	+748.7%
<b>親会社株主に帰属する純利益</b>	<b>14</b>	<b>89</b>	<b>98</b>	<b>11</b>	<b>144</b>	<b>+1111.9%</b>	<b>+878.2%</b>
<hr/>							
<米国拠点合算ベース*>							
米国みずほ証券 経常利益(B)	69	91	75	35	248	+598.1%	+256.3%
<b>経常利益合計(A+B)</b>	<b>90</b>	<b>211</b>	<b>192</b>	<b>90</b>	<b>445</b>	<b>+393.4%</b>	<b>+391.3%</b>

\* 合算ベースには、連結損益計算書の純営業収益および経常利益に連結対象会社でない米国みずほ証券等の米国拠点の純営業収益および経常利益(社内管理ベース)を単純合算しております。

# 事業部門別概要

	2019年度				2020年度 1Q (e)	前四半期 増減額 (f) = (e) - (d)	前年同期 増減額 (g) = (e) - (a)
	1Q	2Q	3Q	4Q			
	(a)	(b)	(c)	(d)			
<b>【グローバル投資銀行】</b>							
純営業収益	160	217	199	185	<b>260</b>	+74	+99
販売費・一般管理費	117	136	140	124	<b>136</b>	+11	+18
経常利益	42	80	59	60	<b>123</b>	+63	+81
<b>【グローバル・マーケット】</b>							
純営業収益	428	508	511	396	<b>704</b>	+308	+276
販売費・一般管理費	376	375	404	351	<b>436</b>	+84	+59
経常利益	51	133	107	44	<b>268</b>	+224	+216
<b>【リテール・事業法人】</b>							
純営業収益	280	296	337	328	<b>321</b>	▲ 6	+40
販売費・一般管理費	290	287	299	306	<b>274</b>	▲ 31	▲ 15
経常利益	▲ 9	10	38	21	<b>46</b>	+24	+56
<b>(合算ベース)</b>							
純営業収益	873	1,020	1,028	894	<b>1,261</b>	+366	+387
経常利益	90	211	192	90	<b>445</b>	+355	+355

(億円)

## <グローバル投資銀行>

- 国内では、大型M&A案件収益化に加え、6月以降DCM市場が活況となる中、着実に案件を獲得
- 海外は、米国を中心に歴史的な起債規模となる中、好調に案件を積み上げ。米欧拠点協働のクロスボーダー案件も増加

## <グローバル・マーケット>

- フィクストインカムは、海外を中心に顧客フローを捕捉、前期比/前年同期比共に大幅増益
- エクイティは、リテール外株フローの好調等により、米国が好調。国内も、コスト構造改革が進展し黒字基調を維持

## <リテール・事業法人>

- リモートチャネルを活用し、お客さまのフォローを徹底
- お客さまニーズに根差したコンサルティングの展開により、株式投信の販売が増加し、前期比/前年同期比共に大幅増益
- 従来から継続している「グローバル・エクイティ戦略」では、ESG投信を新規設定し、サステナブルな投資機会を提供

\* 上記3部門の計数は、社内管理ベースの計数となっております。また、3部門の合計値は本社勘定等が含まれておらず、合算ベースの純営業収益および経常利益とは一致しません。

# 事業部門別概要 ~グローバル投資銀行

## 主要リーゲテーブル

### 国内公募債総合

(2020/4/1-2020/6/30)

順位	会社名	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	野村證券	10,807	19.7
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	10,553	19.2
3	大和証券	10,452	19.0
4	<b>みずほ証券</b>	<b>10,318</b>	<b>18.8</b>
5	SMBC日興証券	9,199	16.8

引受金額ベース、条件決定日ベース  
普通社債、投資法人債、財投機関債、地方債(主幹事方式)、サムライ債、優先出資証券を含み、自社債を除く(出所)アイ・エヌ情報センターの情報を基に、みずほ証券にて作成

### M&A公表案件

(2020/4/1-2020/6/30)

順位	会社名	件数 (件)	取引金額 (億円)
1	Deloitte	17	6,452
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	7	5,655
3	野村證券	15	4,250
4	ブルータス・コンサルティング	8	4,072
23	<b>みずほフィナンシャルグループ</b>	<b>12</b>	<b>212</b>

取引金額ベース、日本企業関連、不動産案件除く(出所)リフィニティブ(旧トムソン・ロイター)の情報を基に、みずほ証券にて作成

### 内外エクイティ総合

(2020/4/1-2020/6/30)

順位	会社名	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	ゴールドマン・サックス	1,584	37.8
2	クレディ・スイス証券	1,278	30.5
3	<b>みずほフィナンシャルグループ</b>	<b>619</b>	<b>14.8</b>
4	BofAセキュリティーズ	194	4.6
5	マッコーリーグループ	160	3.8

引受金額ベース、条件決定日ベース  
新規公開株式、既公開株式、転換社債型新株予約権付社債の合算(REIT含む) 出所)リフィニティブ(旧トムソン・ロイター)の情報を基に、みずほ証券にて作成

### 総合ABS主幹事(確定前)

(2020/4/1-2020/6/30)

順位	会社名	件数 (件)	取引金額 (億円)
1	<b>みずほフィナンシャルグループ</b>	<b>33</b>	<b>2,908</b>
2	野村證券	4	1,944
3	大和証券グループ本社	2	1,198
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4	664
5	モルガン・スタンレー	1	615

取引金額ベース、払込日ベース  
出所)2020/7/15 9:00時点のリフィニティブ(旧トムソン・ロイター)の情報を基に、みずほ証券にて作成(確定値公表前)

## 主な引受案件(2020年度 1Q)

### DCM

#### ■ 国内

- ヒューリック(劣後)
- 東日本旅客鉄道
- Zホールディングス
- 日本製鉄
- 西日本旅客鉄道
- 川崎重工業
- 東京地下鉄
- 日本通運
- 東急
- 九州旅客鉄道
- 東京電力パワーグリッド
- 東日本高速道路(ソーシャルボンド)
- 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(サステナビリティボンド)
- クレディ・アグリコル・エス・エー
- 北九州市
- 東京都

#### ■ 海外

- AT&T Inc
- Berkshire Hathaway Inc
- BP Capital Markets plc
- Corporacion Nacional del Cobre de Chile SA - CODELCO
- Galp Energia
- Hongkong Electric Finance Ltd
- Infineon Technologies AG
- Infor Inc (US)
- NatWest Markets
- Repsol International Finance BV
- ST Engineering RHQ Ltd
- Total Capital International SA
- Upjohn Inc
- Verizon Communications Inc
- Volkswagen Group of America Finance LLC
- Walgreens Boots Alliance Inc

### ECM

#### ■ 引受

- ロコガイド
- ArcelorMittal SA
- Norwegian Cruise Line Holdings Ltd
- T-Mobile US Inc

#### ■ ABB型プロットレード

- ソフトバンク
- ヤマダ電機
- スシローグローバルHD

# 事業部門別概要 ～リテール・事業法人

## < I . 資産導入 >

- 20年度1Q 11,425億円  
(前年同期比+162%、前期比+255%)  
- 18年度3Q以来の1兆円越え

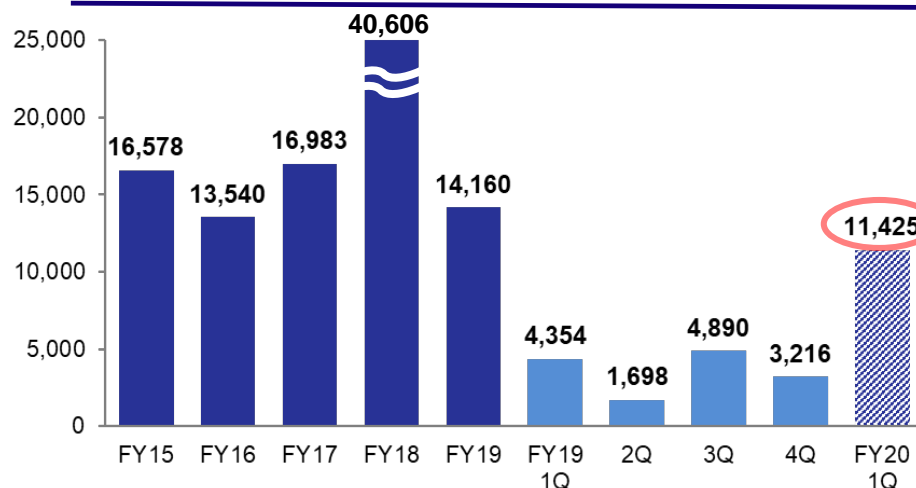
## < II . 公募株式投資信託 >

- 20年度1Q 販売額 3,465億円  
(前年同期比+32%、前期比+47%)  
- 17年度3Q以来の3,000億円越え
- 20年度1Q 純増額<sup>\*1</sup> 1,501億円  
(前年同期比+230%、前期比+147%)  
- 四半期の過去最高更新<sup>\*2</sup>(5四半期連続純増)
- 6月 販売額 2,273億円、純増額 1,219億円  
- いずれも月次の過去最高大幅更新<sup>\*2</sup>
- 株投残高、3.2兆円越えと拡大加速  
(16/9比 +10,899億円純増)

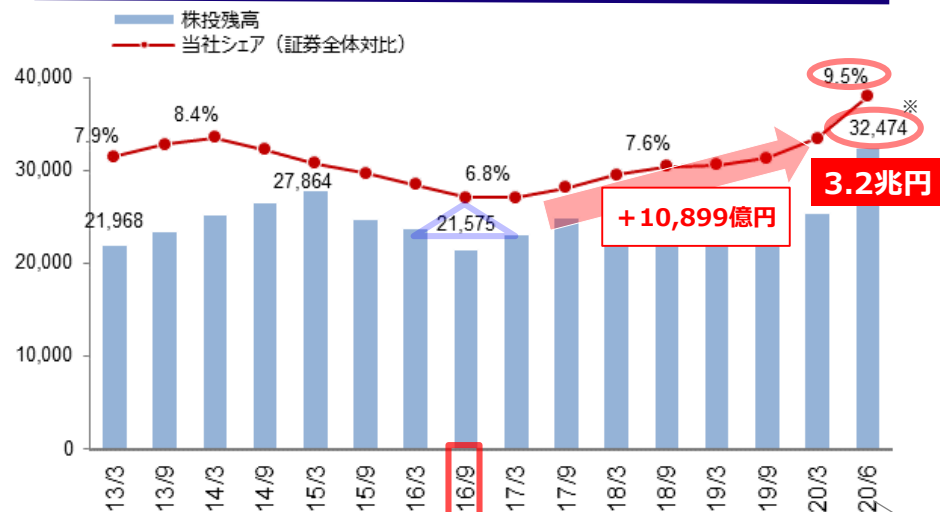
## < III . 外国株式 >

- 20年度1Q 売買代金 3,502億円(前四半期比+7%)  
残高 4,666億円(7/17時点)  
- いずれも過去最高更新<sup>\*2</sup>

資産導入 (億円)



当社の株投残高と業界比シェア (億円)



『グローバル・エクイティ戦略』展開

※未来の世界(ESG) 2,144億円含む

\*1 分配金再投資含む  
\*2 旧みずほ証券・旧みずほインベスターズ証券合併以降



# 事業部門別概要 ～リテール・事業法人

## <IV. グローバル・エクイティ戦略>

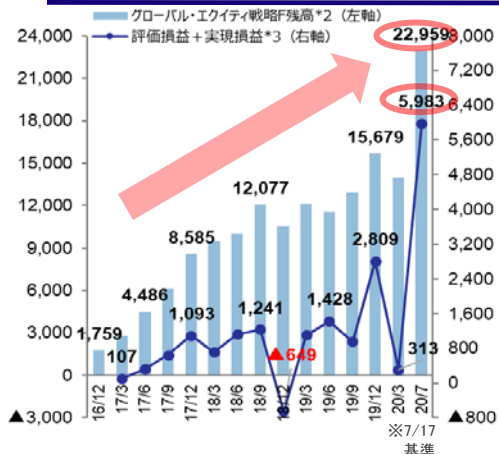
- 長期・分散・グローバルをテーマに据えた「グローバル・エクイティ戦略」が着実に進展
  - グローバル・エクイティ戦略ファンドの残高2.2兆円、含み益\*1 5,983億円に急拡大
- 「未来の世界シリーズ\*4」の当社残高1.3兆円、含み益\*13,451億円に拡大

設定月		残高 (億円)	含み益 (億円)	評価損益率*5 (%)	基準価額 (円)
16/9	未来の世界	5,305	2,241	51%	22,478
17/12	新興国	819	373	41%	14,404
18/8	年2回	1,930	527	32%	13,063
19/1	先進国	1,457	310	25%	13,125
20/7	ESG	3,554	-	-	-
	シリーズ合計	13,065	3,451	42%	-

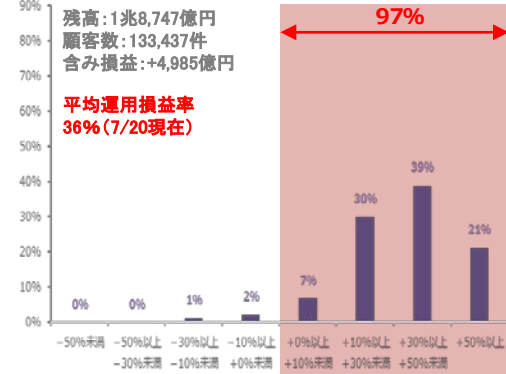
- 7月新規設定「グローバルESGハイクオリティ成長株式F(愛称 未来の世界(ESG))」の当初設定額3,830億円(純増率77.5% 3,000億円)
  - 当社における過去最高額を大幅更新(業界20年ぶりの史上2位大型設定)

## グローバル・エクイティ戦略F

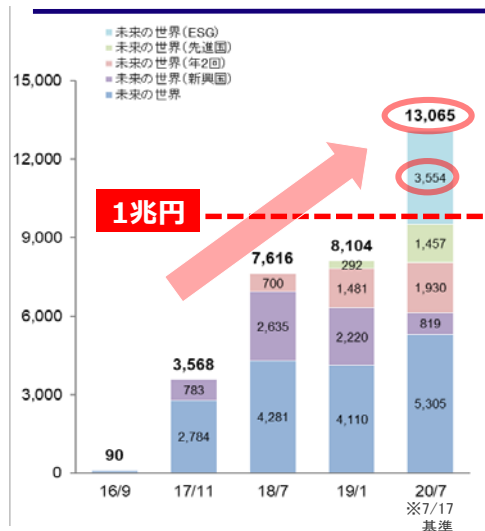
残高および含み益推移(16F)(億円)



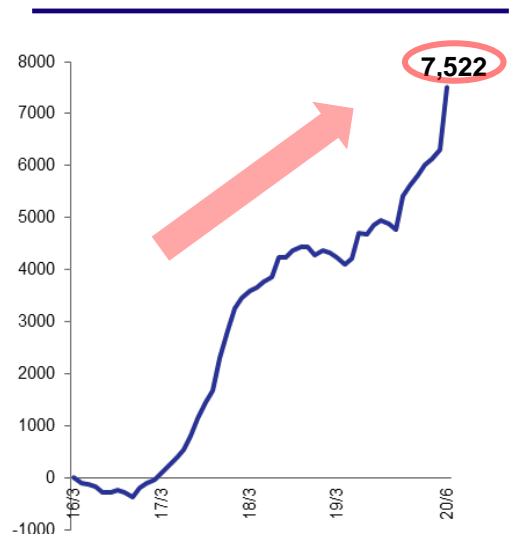
運用損益率別顧客比率(15F)



『未来の世界シリーズ』(億円)



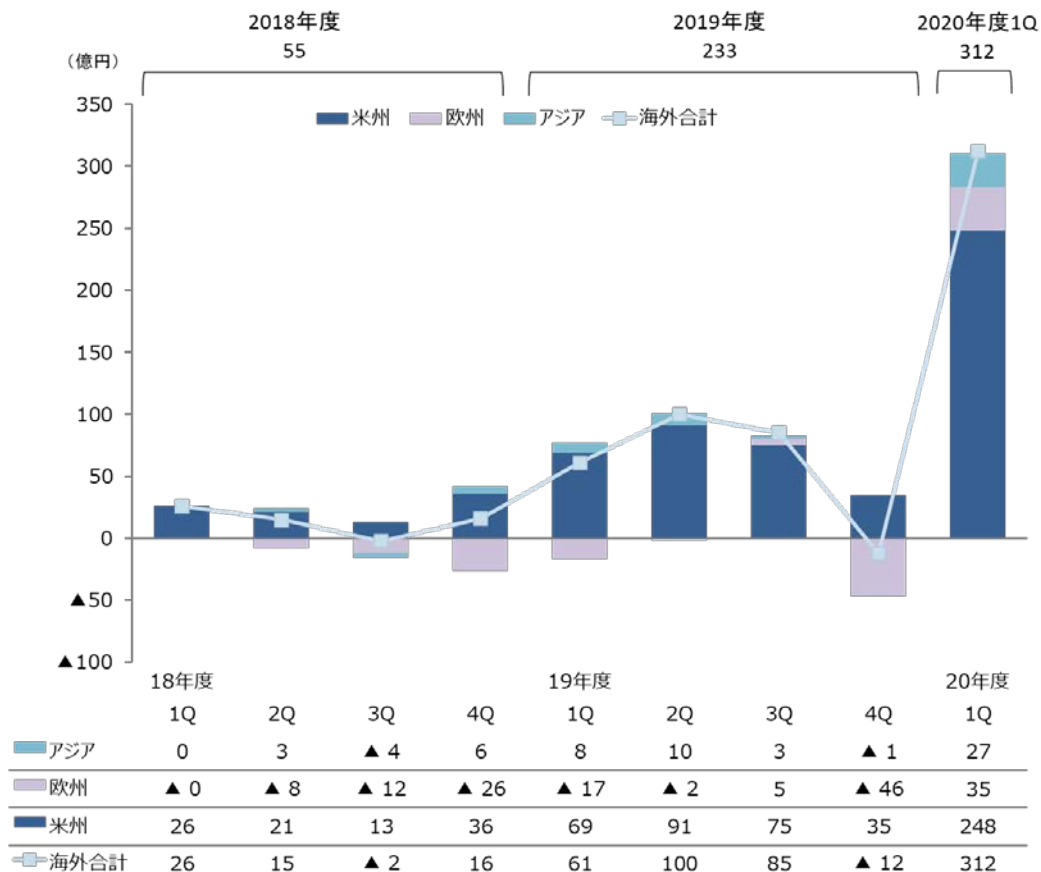
株投純増額(16/3末以降累計)(億円)



\*1 評価損益+実現損益  
\*2 グローバル株式、グローバル新興国および米国株式に投資する16ファンドを対象  
\*3 公募株式投資信託における「評価額-純増額」により算出  
\*4 未来の世界シリーズは、「未来の世界」「未来の世界(年2回決算型)」「未来の世界(新興国)」「未来の世界(先進国)」「未来の世界(ESG)」(コース合算)  
\*5 評価損益÷簿価金額

# 海外拠点別経常利益\*

## 海外拠点別経常利益



\* 内部取引控除前の社内管理ベースの計数となっております。

なお、米州の経常利益は、連結対象会社でない米国みずほ証券等の米国拠点の計数となっております。

### 【海外地域別 経常利益】

- 各拠点共に、着実な構造改革の進展に加え、記録的な発行市場、および活発なセカンダリー市場も背景に、過去最高益を更新

#### <米州>

- 米州は、銀証一体のCIBモデルが定着する中、債券プライマリー・セカンダリーともに着実にフローを捕捉したことに加え、エクイティも好調
- デリバティブ子会社のMCMも、お客さまのニーズを捕捉し大幅な黒字計上

#### <欧州>

- 昨年度第4Qは赤字計上も、ポジションを縮小し、顧客フローに根差したビジネスモデルへ転換
- 米欧拠点連携したクロスボーダーDCMも拡大

# 参考資料

# 連結決算：受入手数料及び販売費・一般管理費の内訳

(億円)

受入手数料	2019年度					2020年度 1Q	前四半期比 増減額	前年同期比 増減額
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計			
株券	94	109	111	152	467	106	▲ 45	+12
委託手数料	60	70	72	80	282	78	▲ 1	+18
引受・売出手数料*1	25	26	26	30	108	4	▲ 25	▲ 21
募集・売出手数料*2	0	5	1	3	12	0	▲ 3	▲ 0
その他の受入手数料	7	7	10	38	63	23	▲ 14	+15
債券	104	120	102	75	402	87	+12	▲ 16
委託手数料	2	2	2	3	9	2	▲ 0	+0
引受・売出手数料*1	61	80	54	29	226	44	+15	▲ 17
募集・売出手数料*2	22	28	32	29	113	27	▲ 1	+5
その他の受入手数料	17	9	13	13	52	13	▲ 0	▲ 4
投資信託	114	103	114	109	442	143	+34	+28
委託手数料	1	1	0	2	5	2	▲ 0	+1
募集・売出手数料*2	70	57	67	60	255	96	+35	+25
代行手数料	43	44	45	47	181	45	▲ 1	+1
その他	58	85	83	76	304	85	+9	+26
保険販売等手数料	0	0	0	0	3	0	▲ 0	▲ 0
ラップ口座手数料	7	7	7	7	30	6	▲ 0	▲ 1
M&A関連手数料	19	25	39	20	104	36	+16	+17
ストラクチャード・ファイナンス関連手数料	12	21	14	23	72	25	+1	+12
コンサルタント手数料	8	11	6	12	38	8	▲ 4	+0
その他の受入手数料	10	17	15	10	54	8	▲ 2	▲ 2
受入手数料合計	372	418	411	413	1,616	424	+11	+51

\*1「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は「引受・売出手数料」と表記しております。

\*2「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は「募集・売出手数料」と表記しております。

(億円)

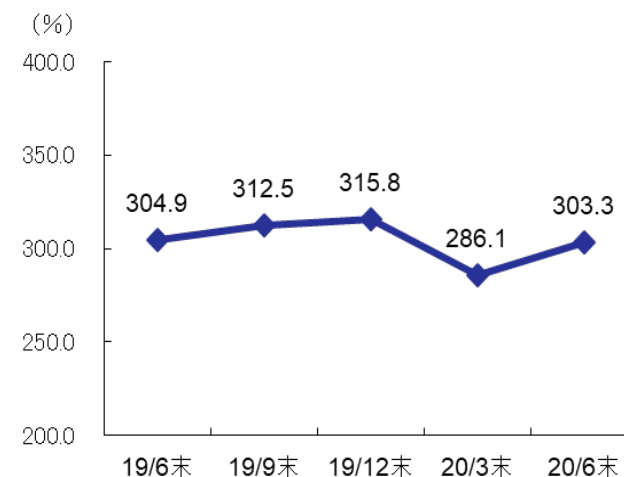
販売費・一般管理費	2019年度					2020年度 1Q	前四半期比 増減額	前年同期比 増減額
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計			
取引関係費	104	111	111	102	429	93	▲ 8	▲ 11
人件費	268	302	300	276	1,147	286	+9	+17
不動産関係費	75	71	76	75	298	65	▲ 9	▲ 9
事務費	66	65	65	77	275	74	▲ 3	+8
減価償却費	70	74	80	71	296	70	▲ 0	+0
その他	26	10	24	18	79	22	+3	▲ 3
販売費・一般管理費合計	611	637	658	622	2,528	612	▲ 9	+0

# バランスシートの状況

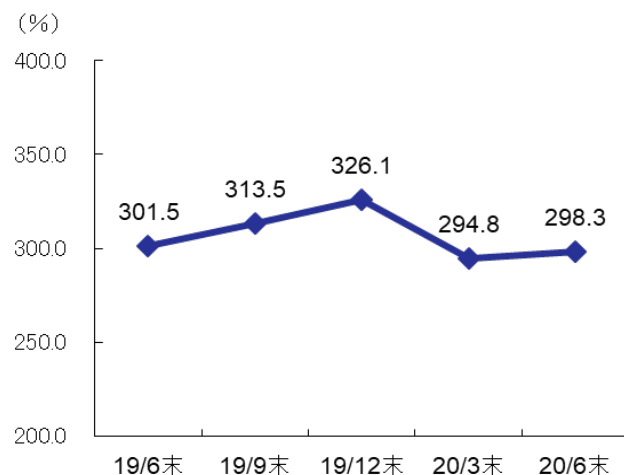
## バランスシート(連結)

	2020年		2020年		(億円)	
	3月末	6月末	3月末	6月末	3月末	6月末
<b>資産の部</b>						
<b>流動資産</b>	174,276	<b>181,892</b>	<b>流動負債</b>	158,711	<b>166,779</b>	
現金・預金	6,909	<b>5,130</b>	トレーディング商品	76,600	<b>79,039</b>	
トレーディング商品	92,376	<b>102,726</b>	有価証券担保借入金	54,100	<b>61,957</b>	
営業有価証券等	710	<b>728</b>	短期借入金	11,835	<b>8,499</b>	
有価証券担保貸付金	62,717	<b>62,505</b>	CP	3,190	<b>2,990</b>	
<b>固定資産</b>	2,150	<b>2,123</b>	<b>固定負債</b>	8,738	<b>8,152</b>	
有形固定資産	291	<b>284</b>	社債	7,106	<b>6,502</b>	
無形固定資産	901	<b>867</b>	長期借入金	1,356	<b>1,374</b>	
投資その他の資産	957	<b>971</b>	<b>負債合計</b>	167,475	<b>174,957</b>	
投資有価証券	474	<b>546</b>	<b>純資産の部</b>			
			株主資本	9,444	<b>9,513</b>	
			その他の包括利益累計額	▲ 535	<b>▲ 498</b>	
			非支配株主持分	42	<b>42</b>	
			<b>純資産合計</b>	8,951	<b>9,058</b>	
<b>資産合計</b>	176,427	<b>184,015</b>	<b>負債純資産合計</b>	176,427	<b>184,015</b>	

## 自己資本規制比率(連結)



## 自己資本規制比率(単体)



# 単体データ(P/L推移)

	2019年度					(百万円)	2020年度
	1Q-4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q
営業収益	354,192	74,896	96,862	87,541	94,891		83,434
受入手数料	149,514	34,070	37,933	37,753	39,756		39,308
委託手数料	23,881	5,051	6,117	5,868	6,844		6,814
株券	23,263	4,926	5,979	5,755	6,601		6,580
債券	102	21	23	30	26		18
引受・売出手数料	30,166	8,032	9,206	7,429	5,498		4,195
株券	10,086	2,413	2,254	2,501	2,917		358
債券	19,406	5,552	6,889	4,823	2,142		3,814
募集・売出手数料	31,525	8,242	7,515	8,457	7,310		9,842
投資信託	25,562	7,021	5,733	6,774	6,032		9,605
その他の受入手数料	63,940	12,744	15,094	15,998	20,103		18,455
投資信託	18,156	4,372	4,485	4,596	4,702		4,561
その他(株券、債券除く)	24,898	4,734	6,794	6,868	6,501		7,573
トレーディング損益	111,981	20,401	29,767	30,556	31,256		28,761
株券等	40,262	5,385	10,219	13,690	10,966		12,104
債券等・その他	71,719	15,015	19,548	16,865	20,289		16,657
営業有価証券等損益	2,621	1,293	870	386	71		305
金融収益	90,075	19,132	28,290	18,845	23,806		15,058
金融費用	82,590	16,759	28,167	15,582	22,081		11,666
純営業収益	271,602	58,137	68,695	71,959	72,809		71,768
販売費・一般管理費	237,737	55,177	58,511	61,946	62,103		58,966
営業利益	33,864	2,960	10,184	10,013	10,706		12,801
営業外収益	4,744	2,863	615	642	622		2,632
営業外費用	179	57	10	53	58		32
経常利益	38,429	5,766	10,789	10,601	11,270		15,401
特別利益	1,110	181	4	759	165		6,655
特別損失	2,860	261	203	94	2,301		740
純利益	29,210	4,717	7,557	10,384	6,551		17,587

\*「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は「引受・売出手数料」、「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は「募集・売出手数料」と表記しております。

## 単体データ(商品販売、口座数)

	(十億円)				
	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
株式引受・売出版売額	69	39	26	26	2
外国債券販売額	164	207	277	273	120
国内債券販売額	272	283	352	275	2
株式投信販売額	263	205	257	235	346

\*リテール・事業法人部門の計数

	(千口座)				
	19/6末	19/9末	19/12末	20/3末	20/6末
証券総合口座数	1,785	1,790	1,801	1,812	1,815
うちみずほ証券ネット倶楽部口座数	1,254	1,263	1,281	1,298	1,304
新規登録口座数(リテール・事業法人部門)	18	18	26	24	12
NISA口座開設数	354	354	353	353	353

	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
みずほ証券ネット倶楽部件数比率(株式)	56.5%	55.1%	58.0%	61.8%	64.9%
みずほ証券ネット倶楽部金額比率(株式)	16.2%	20.9%	16.4%	27.8%	9.8%

# 単体データ(マーケットシェア、預かり資産)

						(十億円)
		2019年度				2020年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
株券売買高(金額)	合計	10,714	11,662	13,000	13,254	13,809
	自己	4,355	5,792	5,601	5,748	4,962
	委託	6,359	5,870	7,398	7,505	8,846
東証売買代金シェア		3.19%	3.40%	3.35%	3.07%	2.79%
引受高(金額)	株券	68	73	37	46	3
	債券	1,959	2,309	2,030	1,271	1,829
募集・売出取扱高(金額)	株券	78	86	70	104	10
	債券	1,324	1,837	1,390	871	1,188
	投信	1,384	1,355	1,614	1,476	985

		(十億円)				
		19/6末	19/9末	19/12末	20/3末	20/6末
全社預かり資産		45,737	46,322	48,213	42,317	45,050
株式		26,072	26,515	28,056	23,087	24,979
債券		13,864	13,985	13,985	13,671	13,882
投信		5,257	5,297	5,630	4,958	5,534
その他		543	524	541	599	654
リテール・事業法人部門預かり資産		40,938	41,232	43,417	37,637	40,596
株式		23,354	23,535	25,254	20,365	22,540
債券		12,502	12,618	12,684	12,374	12,473
投信		4,932	4,943	5,327	4,712	5,471
資産導入額(リテール・事業法人部門)		435	169	489	321	1,142



## 従業員数、拠点数

	(名、拠点)				
	19/6末	19/9末	19/12末	20/3末	20/6末
連結従業員数	10,318	10,196	9,779	9,662	9,866
みずほ証券単体	7,812	7,684	7,575	7,397	7,592
その他国内会社	702	675	338	323	292
海外現地法人	1,804	1,837	1,866	1,942	1,982
拠点数	269	269	267	266	264
国内	259	259	258	256	254
海外(駐在員事務所+現地法人)	10	10	9	10	10

\* 従業員数および拠点数には米国みずほ証券(19/6末:996名、19/9末:1,050名、19/12末:1,082名、20/3末:1,132名、20/6末:1,153名)も含んでおります。